



アウトリーチ事業 第4回連携会議
外国にルーツがある支援者と考える、アプローチと人材育成

1. 実施概要

- 日 時:2025年1月24日(金) 15時00分~16時30分
- 方 法:Web会議システム(Zoom ミーティング)により実施
- 事業名:アウトリーチ手法による外国ルーツ住民の自立支援事業—困窮からの抜け出しを支える体制づくり—(2022年度通常枠)
- 概 要:本事業では、長期アウトカムの一つに、「外国ルーツ住民が日本での教育、福祉、就業の機会を活用し希望する進路・就職に就くなど、課題解決を自立的に行えるようになり、不安定な状況に陥りにくくなる」との目標をかかげています。実際に、外国ルーツ住民自らが、支援する側として関わることで、支援の在り方を問い直す、変化をもたらすという話を耳にする場面が増えてきました。外国ルーツ住民が支援や活動の担い手となりつつある今だからこそ、エスニックコミュニティへのアプローチを含むこれまでの支援の仕方や支援者の育て方などを様々な角度から考えてみたいと思います。

そこで本会議では、当事者かつ支援者として、背景の異なるお二人のゲストスピーカーをお招きし、外国ルーツ支援者自身の支援に対する考え方、さらに地域・同国・他国のコミュニティ・団体へのアプローチ、付き合い方などについて座談会形式でお話をお聞きします。その後、みなさんと共に、支援の担い手がより多様化していく上で考えてみたい支援を必要とする方へのアウトリーチや支援者の育て方のノウハウや心得など、日ごろのモヤモヤをもちより話し合います。

2. スケジュール:

15:00~15:05	はじめに
15:05~15:30	問題提起① 明範祐利氏(IKUNO・多文化ふらっと)、 橋本秀吉氏(リスタートコミュニティ)
15:30~15:35	問題提起② 鈴木晶子氏(シャンティ国際ボランティア会)
15:35~16:15	グループディスカッション(40分、ブレイクアウトルーム) ① 支援の担い手の多様化に向けた担い手の発掘、育成の在り方 ② 地域・エスニックコミュニティへのアプローチ、コミュニケーション方法
16:15~16:25	ふりかえり(10分)
16:25~16:30	事務連絡(年度末提出物等)